

大田区自立支援協議会 地域移行・地域生活支援部会要旨

文責：(川上委員、障がい者総合サポートセンター一部修正)

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 地域移行・地域生活支援部会 (第6回)			
(2) 開催日時	平成31年1月18日(金) 10:00~12:00			
(3) 開催場所	大田区立障がい者総合サポートセンター 5階多目的室			
(4) 出席した委員、事務局	委員 (部会長：伊藤委員)			
	白井 絵里子	山根 聖子	志村 陽子	齋藤 信子
	林 達彦	青山 明子	井岡 幸子	岡本 洋
	岡田 あい子	河又 保子	田中 裕子	川上 みどり
	区職員：竜崎 香代 (健康づくり課 健康づくり担当係長)			
事務局出席者 障がい者総合サポートセンター：木伏係長、森田、柳田				
(5) 内容・要旨	<p>1 連絡・確認事項</p> <p>(1) 司会・書記の確認</p> <p>(2) 出欠者の確認</p> <p>(3) 配布資料の確認</p> <p>(4) 連絡会事項</p> <p>○東京都自立支援協議会 学習会の内容報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域移行を利用し、退院した方の体験談を伺った。 ・当日発表者から、地域に戻りたいと思った理由について、お墓参りをしたかったと話していたことが、印象的であった。 <p>○運営会議の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部会が検討していた今年度の地域課題を共有し、来年度の部会活動を検討した。全地域課題から、おおた障がい施策推進プランの内容と重なる部分も多く見受けられた。協議会として、プランの確認をする役割も担い、来年度は5つの部会の課題を引き継ぎながら、大きく3つのグループで運営ができるのではないか、という意見が出された。 ⇒2月の専門部会で具体的に検討する。 ・3月15日(金)の第3回の自立支援協議会の全体会議の概要を確認。前半は、各部会からの報告し、後半は来年度の運営について検討を行う。 <p>○グループホーム連絡会の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム情報の発信方法について、継続して検討している。 前回の会議内では、以下の意見が出ており、次回まとめていく予定。 (1) 本人向けのタイムスケジュールがあった方が分かりやすい。 (2) イラスト等を使うと理解しやすい。 (3) ホームページにビデオレターのものを掲載するのはどうか。 等 			

2 議事録から前回の振り返り

- ・各ワーキンググループの進捗状況を共有した後、目的にあわせた見学の候補先を絞り込んだ。
- ・11月～12月はグループ毎に見学会を実施。
- ・12月は公開勉強会を開催した。

3 議題

(1) 公開勉強会のふりかえり 「株式会社 ぐるんとびー」

○アンケートから読み取れること

- ・キーワードは「最適解」。
- ・暮らしていくこと、生きていくことを意識する。すると、正しさは、その時々で変化していく。
- ・人のつながりが大事だが、現状はどうだろうか。
⇒大田区やそれぞれの地域を見直す必要性を感じた。

○当日参加者の意見

- ・あるべき姿や、5年後10年後のイメージにとらわれがちだが、その時々
の最適解を考える必要性を感じた。
- ・自分の行う支援が、先回りした支援をしてしまう傾向がある。今を見て
いなかったことを感じた。
- ・お互いがお互いの気持ちを考えながら手を取り合っていくと、できる
ことがたくさんあると思う。

(2) 各ワーキンググループに分かれた作業

1) グループ内で見学会の情報共有

2) 第3回本会にむけて活動報告資料を作るために、グループワークで課題解決整理表をまとめる。

①サブタイトルをつける

②見学会の目的や感想をまとめる

③報告内容の絞り込みを行う

※基本的には部会長が説明するため、伝わりやすい内容にまとめる。

3) 到達目標と来年度に向けた課題を整理する

※次回日程（第7回）

○作業部会：1月30日（水）10時～12時 さぼーとびあ3階集会室1

○部会：2月15日（金）10時～12時 さぼーとびあ5階多目的室